

「経産分娩における母体肥満のリスクに関する後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター 研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもとを行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体胎児部門において、2019年4月1日から2023年3月31日までの期間に、正期産で経産分娩を予定した妊婦さんを対象としております。

2. 研究の目的

近年、肥満合併妊娠の症例が増えています。肥満は経産分娩において、分娩時間が長くなったり、帝王切開術へ移行したりしやすいと考えられていますが、国内で実際に検証した研究は多くありません。今回、肥満の経産分娩におけるリスクを解明することで、母児ともに安全で適切な分娩方針のもとで分娩を行うことが可能になると想っています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年8月15日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科医局において、研究責任者である中村永信が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

正期産で経産分娩を予定した妊婦さんの、実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 中村 永信（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 中村 永信

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（直通）（平日 9 時～15 時）

○研究課題名：経産分娩における母体肥満のリスクに関する後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 中村 永信